



## 優れたシステムの実力をさらに引き出す! フルテック最上級電源ケーブルと NCF Boosterの魅力

フルテックは高度な開発技術と徹底した突き詰めて、優れたオリジナル製品を世界中へと送り出し、高評価を得ている。なかでも電源関連と端子周りのアクセサリは傑出しており、完成品ケーブルの秀でた設計にもそれらは遺憾なく生かされている。ここでは AAEX2022 でグランプリを受賞した最高峰電源ケーブル「Powerflux-NCF-18」の音を改めて探査しつつ、さらなるクオリティアップアイテムとしての元祖「NCF Booster」を使い、実力がどこまで高まるのかそのメリットもレポートする。

Text by

井上千岳

Chitabe Inoue

Photo by 田代法生



### FURUTECH NCF Booster

プラグ/コネクタ・フォルダー  
¥39,688 (税込)

### FURUTECH Powerflux- NCF-18

電源ケーブル  
¥327,800 / 1.8m (税込)

「Powerflux-NCF-18」の導体素材はα-導体（OCC 素材）の高密度導体。ケーブル中間部にはシルバーカーボンフィニッシュの電磁ノイズ対策 GC-303 EMI 吸収材を装着。さらに振動ノイズ対策として内部にネオダンパーテクノロジーを採用する

● NCF 導体にも専用ケーブル  
導体から構造まで独自に設計  
表情が深く陰影が濃いのが特徴  
Powerflux はフルテックのフラッグシップとなる電源ケーブルだが、一昨年の 2021 年にプラグを一新して大いに話題を呼んだ。今回はもう一段踏み込んで、もうひとつ上の次元を探ってみることにしたい。NCF Booster との併用がそれである。Powerflux は精密な構造を持った 3 芯タイプの電源ケーブルで、導体には径 0.127mm の α-OCC 素材を使用し 7 本の撚線を束ねた形としている。α-OCC は OCC 銅線に独自の深冷処理及び物性処理アルファ・プロセスリングを施した導体で、フルテック固有の線材である。絶縁は特殊ポリエチレンだが、特に注目されるのがシースの構成だ。  
3 本の芯線をまとめた上にはまずインナーシース、シールドを挟んでその上にアウトターシースという厳重な二重構造である。材質はカーボンパウダーを調合した高機能 PVC で、制振性と外来ノイズの遮断、さらに柔軟性を備えている。またシールドはアルファ導体による編組である。  
この精密ケーブル本体に F I



装着されている最高峰プラグ「FI-50M NCF (R)」とIECコネクター「FI-50 NCF (R)」。ステンレス合金削り出しの端子ハウジング内部は、制振性のある特殊樹脂を採用。外装はシルバーカーボンファイバーを装着した3層構造。ケーブルクランプ部は重厚かつ制振特性を持つ特殊金属を採用し、強力な制振効果を発揮する

50M / 50 NCF (R) という最高グレードのプラグを装着したのが、このNCF・18というバージョンである。このプラグについてはすでにあちこちで紹介されているので、詳しくは必要はなさそうだが、鍵はNCF (ナノ・クリスタル・フォーミュラ) である。フルテック独自の素材で、静電気



NCF Booster シリーズ。左から主に電源用の「NCF Booster」(¥39,688、税込)、信号系用の「NCF Booster-Signal」(¥23,958、税込)、低い位置用の「NCF Booster-Signal-L」(¥17,908、税込)

Specifications

**[Powerflux-NCF-18]** ●端子の電極部：高伝導性を有する純銅にロジウムメッキ、さらにαプロセス処理●プラグボディ部：特殊素材 NCF 調合 ●ケーブル導体：a-導体 (68本 / 0.127mm×7) ×3、外径2.8mm ●ケーブル絶縁体：特殊PE (赤、黄、自然色)、外径：5.4mm ●ケーブルシース：1→RoHS 指令適合カーボン/ウダー調合柔軟性PVC (内層)、2→RoHS 指令適合柔軟性PVC (外層)、外径16.5mm ●ケーブルシールド部：0.12mm α-導体燃り合わせ編組 ●ケーブル仕上げ：ナイロン糸編組、外径約17.5mm ●※長さの特注品は別途見積もり

**[NCF Booster]** ●構造：独自調合マルチマテリアルハイブリッド構造 ●クレイドル素材：オーディオグレードABS樹脂とNCF調合ナイロン樹脂 (静電気および振動対策) ●クレイドル：カーブタイプ ●トップクランプ素材：特殊ステンレスブロックとオーディオグレードNCF調合ナイロン樹脂 ●外部サイズ：約94×99.7mm ●高さ：基本88mm / 延長147.5mm (オプション追加可能) ●質量：基本580g、延長630g ●ベースユニット素材：オーディオグレードABS樹脂、鉄製カウンターウェイト、衝撃吸収プレート ●付属品：エクステンションシャフト×2、固定リング×2

を強力に吸収・排除する。以前から各種製品に採用されてきたが、ここではプラグのボディに調合している。この効果は思いのほか強力で、その後の製品展開によっても驚異的な音質改善を実現して、聴く人を驚かせているものである。ハウジングはステンレス合金で、制振性特殊樹脂とシルバーカーボ

ンファイバーの3層構造。制振性特殊金属のケーブルクランプ部、ロジウムメッキ純銅性の電極部など随所にきめ細かな配慮が行われている。さらにケーブルの中間部にはシルバーカーボン仕上げの電磁波吸収材GCC・303が装着され、ノイズ除去を徹底する。

●NCF Boosterの併用望  
音の生命力が引き出されて  
音楽を鳴らす源が強力に整う  
さてここでは、システムの要となるプリアンプに装着して試聴してみた。電源ケーブル自体の基本的な特質としては、エネルギーが非常に豊かに乗って彫りが深い。特に大音量の部分ではなく、ごく普通の何気ないパッセージでも一音一音の起伏が大きく取れているため表情が深く陰影が濃いだ。そしてそれが重苦しくならず、重厚な弾みとなって現れてくるところに凄みがある。

これにNCF Boosterを加えて、一層の音質向上を図ろうというのが本稿の目的だ。NCF Boosterシリーズはすでによく知られていると思うが、ケーブルや端子を支持し挟んで装着を確実にするアクセサリ。使用したのは上部にスタビライザーを備えて、静寂感を増した最上級モデルである。  
エネルギーが逃げない。例えばそれはジャズでも顕著で、ウッドベースやトロンボーンの重心が下がって質感が厚く、また弾みに富んで起伏が常に軽く揺れていることでも分かる。活きがいいのである。単に厚い、力感が高いというのならこれまでにもあったが、それがこうした弾みとなって音の生命力になっているのは初めてのことだ。バロックは瑞々しい鮮度の高さが聴きものだ。バロック・ヴァイオリンの繊細な表情と同時に、コントラバスやヴィオラの強靭な立ち上がりにも注目したい。スピードの速い証拠で、それが低域の切れの良さとなってシャープな弾みを作り出している。  
ピアノも和音のがっしりとした力感と響きの厚さ、肉質感の暖かみが、一瞬で聴く人を捉えてしまう。タッチがデリカシーに富んで、ことに弱音部の表情がきめ細かな変化を見せて彩り豊かだ。  
オーケストラは粘りと潤いを備えた弦楽器の音調が頼もしいが、当たりがよくふくよかな手触りで響きに大きく包まれるようなイメージがある。音色の濁りがなく純粹だ。そして起伏がどこまでも伸び伸びと高まって、振幅の大きなうねりが描き出されている。  
低ノイズ・高エネルギーの基本的な性能を、NCF Boosterがさらに引き立てて信号を逃さない。フラッグシップの威力が遺憾なく発揮されている。音楽を鳴らすための源が強力に整えられた印象である。